

てしお

議会だより

No.167

令和元年11月27日発行

北海道
天塩町議会



30年度決算を審議 スキー場リフトを改修

第三回定例会

一般質問 町政のそこが知りたい

- | | |
|----|-----------------------------|
| 渡辺 | 滞納者に法的措置を <small>ほか</small> |
| 山本 | 産廃処理場の進捗は |
| 石山 | 高齢者への対策は |
| 遠藤 | てしお再生の取組は <small>ほか</small> |
| 国奥 | 給食費の無償化を <small>ほか</small> |
| 横山 | 人財情報の共有を |

町民ジョギング大会

天塩町議会 |

検索

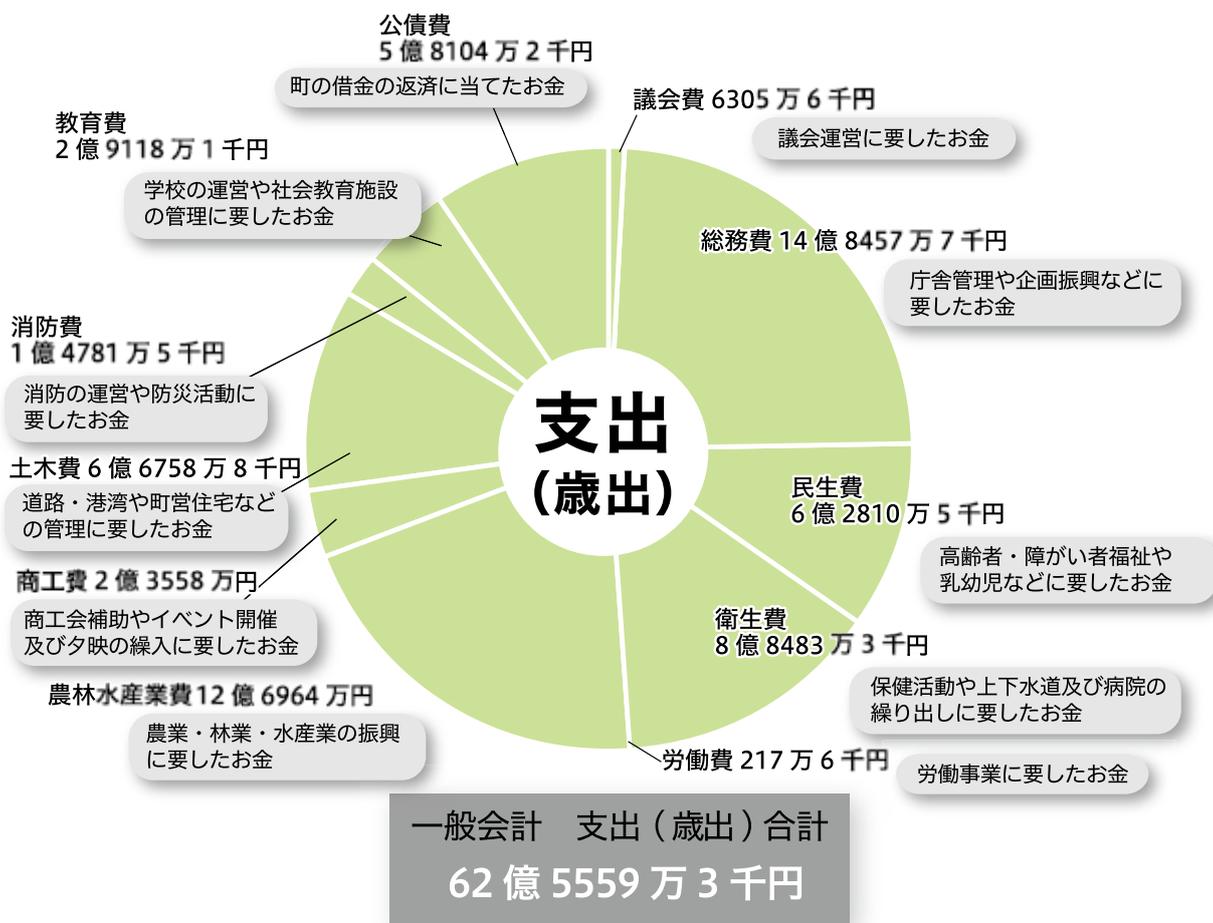
委員会調査 REPORT

共同斎場・道の駅てしおほかを調査

「議会のうごき」を
ホームページに掲載しています

を認定しました

平成30年度
決算審査
特別委員会
9月11日～12日



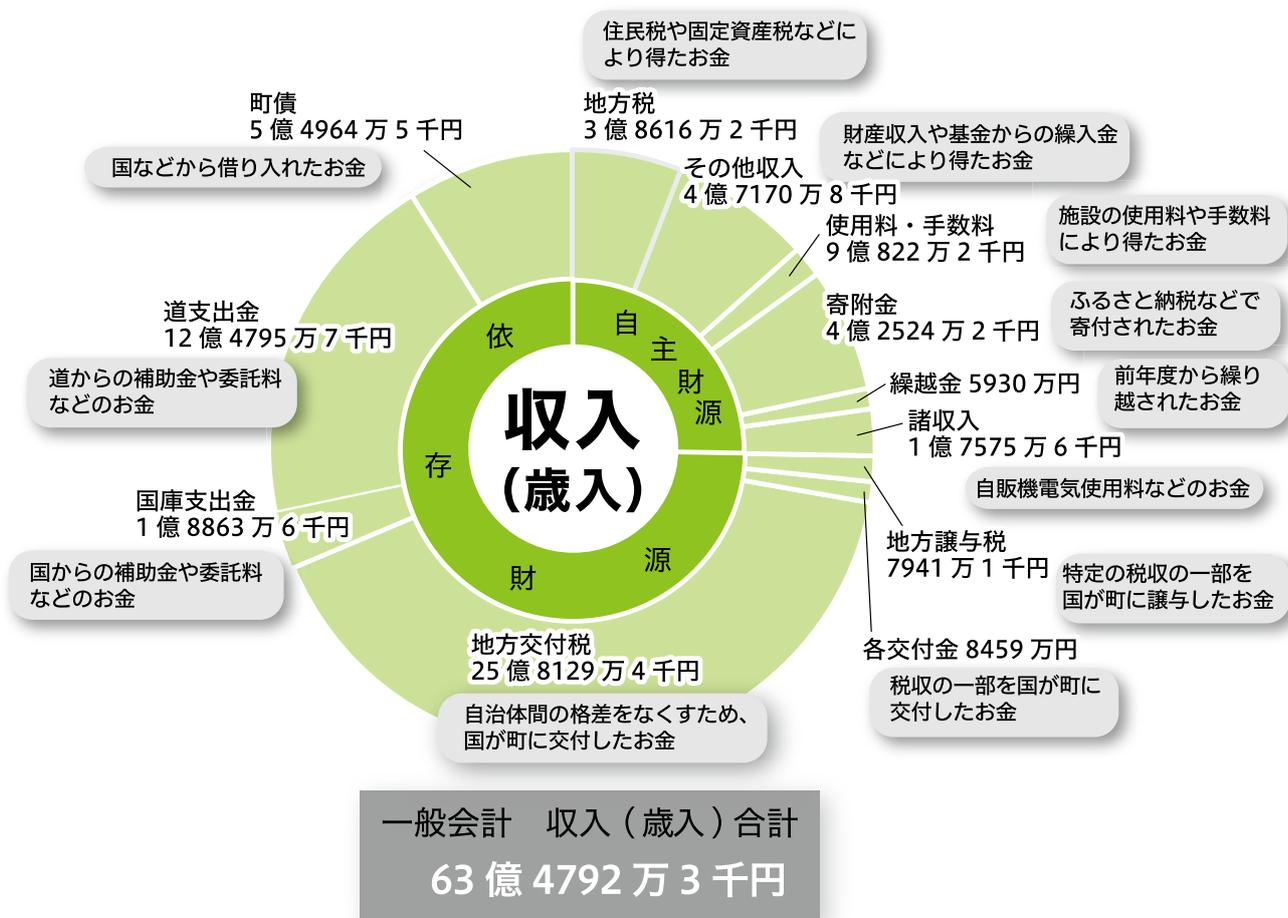
令和元年度第3回定例会において、平成30年度一般会計ほか各特別会計決算認定が提案されました。これに伴い、特別委員会に付託し審査することとし、9月11日

に「平成30年度各会計決算審査特別委員会」を設置、正副委員長の互選後、質疑を行ったのち、採決を行い、全ての会計を「認定すべきもの」と決定し、12日に閉会しました。

平成30年度各会計収支 (歳入・歳出) 一覧 ※カッコ内は前年比

会計名		収入 (歳入)	支出 (歳出)	差引	
特別会計	一般会計	63億 4792万 3千円 【8.9%増】	62億 5559万 3千円 【8.4%増】	9233万円	
	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	4億 9374万 7千円 【21.2%減】	4億 6039万 1千円 【20.1%減】	3335万 6千円	
	水道事業特別会計	8億 9717万 3千円 【51.9%増】	8億 9329万 6千円 【52.8%増】	387万 7千円	
	国民健康保険病院事業特別会計	収益的	6億 9787万 7千円 【13.0%減】	6億 9787万 7千円 【13.0%減】	0円
		資本的	7716万 4千円 【14.8%減】	7716万 4千円 【14.8%減】	0円
	下水道事業特別会計	2億 3125万円 【7.3%減】	2億 2928万 7千円 【7.6%減】	196万 3千円	
	介護保険特別会計 (保険事業勘定)	3億 1643万円 【8.4%減】	2億 9745万 8千円 【10.8%減】	1897万 2千円	
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	5322万 6千円 【8.9%減】	5171万 7千円 【9.4%減】	150万 9千円	
	後期高齢者医療特別会計	4772万 【12.4%増】	4748万 8千円 【12.3%増】	23万 2千円	
	町民保養センター事業特別会計	8975万 8千円 【34.0%増】	8875万 8千円 【34.5%増】	100万円	

平成30年度各会計の決算



◆貯金(基金)残高の推移 (財政調整基金)

平成27年度	9億7794万円
平成28年度	10億2533万円
平成29年度	7億5583万円
平成30年度	6億3696万円

町の貯金(基金)は年々減少傾向にあり、平成30年度は1億1,887万円減となりました。

◆借入金(地方債)残高の推移 (一般会計)

平成27年度	47億2756万円
平成28年度	44億1820万円
平成29年度	43億3858万円
平成30年度	43億3701万円

平成30年度は、借入金と償還額がほぼ同額のため、町の借金は前年度比157万円の減となりました。

平成30年度決算 徹底審査

決算審査特別委員会で行われた各会計での質疑や各委員からの提言を要約して一部お知らせします。

委員会での質問数 **63** 項目



総務費

地域おこし協力隊事業

協力隊の目的と効果は

遠藤 地域おこし協力隊に求めた内容と効果は。何人起業したのか。

総務課長 協力隊への

目的は定住であり、今まで8名が定住しています。起業された方は2名で、スポーツインストラクターと家庭教師です。

総務費

天塩高校通学費助成事業・通学対策事業 高校への支援 今後の考えは

横山 総合交通体系の見直しにより通学対策経費を圧縮し、魅力度アップのために支援できるのではないかと。

町長の考えは。

町長 将来どうあるべきか議論を行いたいです。下宿についてもぜひ検討すべきではないかと思っています。



民生費

天塩町社会福祉協議会補助事業 行政負担額の再検討を

国奥 福祉行政は町の車の両輪だが、経営努力、自立への観点から行政負担額の再検討が必要では。

町長 今年度の補助金の執行は適切であると理解していますが、これ以降改善の余地があるかどうか検討していきたいです。



衛生費

未来を築く子育て応援事業 子育て支援制度の検証を

横山 出産準備金と出産祝金の内訳は。また、出産祝金の金額は果たして適正か。

町長 準備金が19名、祝金が12名です。子育てや少子化対策という安心して出産できる体制づくりを含め検討していきたいです。



衛生費

西天北五町衛生施設組合負担金 経費の削減が必要では

遠藤 西天北五町ともに、人口も世帯数も減少している。産業構造の減少傾向にある中で施設運営に対する財源の軽量化、経費の削減が必要ではないか。検討されたことがあるか。

住民課長 会議録等を確認するための時間を頂きたい。



農林水産業費



酪農ヘルパー事業補助金 ヘルパー不足の原因と対策は

横山 ヘルパーの人数が少ない。現在の人数、集まらない原因と対策は。

農林水産課長 現在3名います。募集は農協がしていますが、全道的に少ない状況ですので、給料体系や採用について今後も連携を密にして努力しないといけないと考えています。

農林水産業費



町営草地管理事業 舎飼施設の増設は

横山 舎飼施設は町長も増築の考えはあるようだが、指定管理料は削減されることになるのか。

農林水産課長 施設を増やしても頭数も増えるため、料金の改定を今の倍以上にしなければ削減しないと思われます。

農林水産業費



パンケ沼底質改善事業補助金 しじみ資源の今までの成果は

遠藤 底質改善事業は毎年行われているが、どのように考えているのか。

町長 町としても今後も継続すべきと考えていますが、どう補助していくのか、町民に内容を公開し判断していきたいです。

商工費



ハローシールポイント補助事業 ポイント制度の見直しを

横山 町が各事業にてポイントを付与する制度自体に問題があるのではないかと。町民に喜ばれる制度に変えるべきでは。

商工観光課長 町内の地域振興活性化に資すること、町主催事業の参加促進が目的でしたが、検討し工夫を講じたいです。

商工費



天塩町観光協会事業補助金 今から検討が必要では

横山 来年の観光事業は各祭りのあり方など今から検討しなければいけないが、町がイニシアチブをしっかりと握ってやっていただきたい。

町長 令和元年度以降継続していく中で、観光協会の事務局体制のあり方も含めて修正、検証していきたいです。

商工費



商工振興事業補助金 町への経済効果は

遠藤 町から色々な形で支援しているが、経済効果などの実態を把握に努めているのか。

商工観光課長 町全体の経済効果については把握していません。商業の振興に役立つため、その部分の分析等々は商工会とも行っていきます。



土木費

天塩港湾建設事業 浚渫事業の内容は

遠藤 航路浚渫のための予算、期間、浚渫量、堆積物の使用目的は。

建設課長 30年度実績で浚渫3万1千立米、工事費1億1700万円、導流堤改良工、防波堤西側延伸工、1億7920万です。町の負担額は15%の4893万円です。



土木費

町営住宅管理経費 公共住宅駐車場の整理を

遠藤 町営住宅の駐車場が区画指定されていない。管理条例に沿った整理を行ってもらいたい。

建設課長 今後は、利用者や管理者と協議をしていきながら、整理していきたいです。



教育費

町民プール管理経費 プールの安全対策は

山本 町民プールの鉄骨やマットなどが傷んでいるようだが、安全対策は大丈夫なのか。

教育長 管理人が常駐し、不都合があれば連絡が来ることになっていますが、閉鎖後改めて確認し、修繕等を検討していきたいです。



消防費

災害対策経費 防災システムの更新は

横山 今の防災システムは聞こえないところが多い。新たな防災システムの検討は。

町長 防災行政無線システムの更新は、現在の形を継続しようとは思っていません。色々な伝達手段を議論し検討していきたいです。



歳入

公営住宅使用料等 差し押さえのタイミングとは

横山 一般質問の答弁で差し押さえという伝家の宝刀を抜くタイミングを任せてくれと述べたがそのタイミングとは。

町長 法的措置については前向きに実施する中で、給与関係は差し押さえを行っていません。動産・不動産はタイミングを前向きにしていきたいです。



歳入

不能欠損問題 滞納繰越、不能欠損の内訳は

遠藤 現在までの滞納繰越分と不能欠損の件数とそれらの内容は。

住民課長 生活保護の開始による時効の消滅や法人の未申告による時効の消滅、生活保護の受給や所在、財産の不明により不能欠損が発生しています。

第3回 定例会

9月11日～13日

補正予算ピックアップ

- 年末プレミアム商品券補助
- 天塩高校のWi-Fi整備へ補助
- スキー場リフトを改修

補正予算歳出内訳（主なもの）

病院事業特別会計繰出金	6,000万円
啓徳小学校新体育館吊天井改修事業	▲3,120万円
地域総合振興事業補助金 （年末プレミアム商品券事業）	800万円
町道補修整備事業	800万円
トウツナイ川廃止河川敷地譲与 申請外分調査事業	800万円
幼児教育無償化システム改修事業	511万円
天塩高校部活動遠征費補助金	150万円
行政ネットワーク整備事業	122万円
町民スキー場リフト改修事業	110万円
天塩高校振興会補助金	100万円

プレミアム商品券補助など
7300万円追加

補正予算

●一般会計

歳入歳出について、
7300万円を増額し
総額を47億4600万
円としました。

質疑要旨

町が道立高校を 整備する理由は

石山

天塩高校振興会補助
金は100万円、天塩高
校部活動遠征費補助金
は150万円上がった
が内訳は。

総務課長

天塩高校振興会補助
金は学校環境のWi-Fi
化の要望による補正
です。学校教育や映像教
育の展開が図られます。
天塩高校部活動遠征費
補助金は部活動の遠征
費を3月まで精査した
ところ不足が生じたた
めの補正です。

渡辺

道立高校のWi-Fi
を整備する補正だが、町
民がまだ不便している
ところがたくさんある。
北海道が整備するもの
に対して予算をつける
根拠は。

町長

道立高校であるため
北海道教育委員会を含
めた負担が前提ですが、
今回は公設民営塾のあ
り方や小中学校、高校通
じて使える無線授業の

条 例

展開を高校で行いたい
という要望がありました。
小中学校についても予算
要求がありました。基
本的な構想が煮詰まっ
てないと査定段階で理
解し、地域や学校を含め
て作り直す中から新年
度に向かってICT化
を進めようというところ
で終わっています。義
務教育は直営で町の予
算で行えますが、高校に
ついては先駆的な例と
して補助していきたい
と考えています。

○個人番号の利用に関
する条例の一部改正
法律により地方公共
団体が独自に個人番号
を利用する場合は、取り
扱う事務を条例で規定
するため条例改正

○印鑑の登録及び証明
に関する条例の一部
改正

住民基本台帳法令施
行令の一部改正に伴い
旧氏による印鑑を登録
できるようにする条例
改正

○子ども・子育て支援法
施行条例の一部改正
幼児教育及び保育施設
の利用に関する給付制度
を創設するための子ど
も・子育て支援法の一部
改正に伴う条例改正



▲Wi-Fiの整備が進む天塩高校

○ケアハウス設置及び

管理条例の一部改正

○町営干拓牧場管理に

関する条例の一部改正

○町営草地並びに牧野

管理に関する条例の

一部改正

○町立国民健康保険病

院使用料等条例の一

部改正

○簡易水道事業給水条

例の一部改正

○公共下水道条例の一

部改正

10月1日から消費税

及び地方消費税の税率

が改正されることに伴

う料金の改正

その他

○財産の取得

町立病院備品購入の

契約を原案可決

相手先：(株)常光旭川支店

名称：臨床化学自動分

析装置

契約金額：1056万円



▲更新された分析装置

石山

買おうとする機械は

今までなかったのか、

壊れて使えなくなっ

たから導入しようとし

たのか。

病院事務長

機械の更新です。旧機

械は平成21年度に導入

してはいますが使用年数

が10年を超過しデータ

のばらつきやメンテナ

ンスに時間がかかるこ

とから購入しようとし

るものです。旧機械のメ

ンテナンスは朝の就業

前に1時間半程度、就業

後に1時間程度かかり

ます。

○教育長の任命

野崎浩宜氏

(字川口)の再任に同意



○教育委員の任命

黒川淳子氏

(山手通11)の任命

に同意

○固定資産評価審査委

員の選任

湯澤清美氏

(字サラキシ)の選任

に同意

○「宗谷医療圏域にお

ける医師確保のため

の要望意見書」を北海

道に提出

○「林業・木材産業の

成長産業化に向けた

施策の充実・強化を

求める意見書」を国に

提出

おめでとうございます。

留萌管内

町村議会 議長会

自治功労者表彰

議員12年表彰

遠藤功議員が12年以

上にわたり、町議会議員

として地方自治の振興

発展に寄与された功績

に対し、留萌管内町村議

長会から表彰され、菊地

議長から表彰状の伝達

が行われました。



第4回臨時会

7月30日

補正予算

●一般会計

歳入歳出について

200万円を増額し総

額を46億7300万円

としました。

町長

公設民営塾などの学

力あるいは進学での魅

力作りを前提に、部活動

の補助金も含めて一定

の応援をしたいと考えて

ています。

条例

○遠別町・天塩町共同

斎場設置及び管理条例

の一部改正

遠別町との供用開始

前の見直しにより、文言

の修正、使用料・適用区

分の明記及び使用料を

死亡者の住所で決定す

る条例改正

質疑要旨

補正予算歳出内訳

天塩中学校 体育文化連盟補助金 (全道大会出場経費)	176万円
予備費	24万円

部活を続けられる

環境づくりを

横山

中学校では全道大会に

出場する成果を出してい

るが、天塩高校では所属

していた部活動ができな

い場合がある。高校の魅

力づくりとして引き続き

部活動に一生懸命取り組

める環境づくりに力を注

いでほしい。

一般質問

渡辺修勝議員

滞納者に法的措置を

町長 年度内に一定の方向性を



公営住宅の滞納は

- ① 家賃滞納の年間件数合計金額、最高額は。
- ② 滞納対応の基本的な考え方は。
- ③ 滞納の整理方法は。
- ④ 法的措置の検討は。
- ⑤ 滞納に対する対応基準や規約はあるのか。
- ⑥ 町営住宅の明け渡しに基準はあるのか。

町長
① 今年度は37件、約1千6百万円、1件あたり

り約190万円です。

② 督促状の送付や延滞金請求を行い、3ヶ月以上滞納者には住宅の明け渡し請求をします。

③ 臨戸訪問を行います。分割納入には誓約を交わし継続的な納入を求めます。納入困難な場合は連帯保証人に同様の処置を行い、5年以内に完納を求めます。

④ 入居取消しや明け渡しを求める訴訟ができますが、前例はありません。

⑤ 具体的な基準や規約はありません。

⑥ 管理条例の第41条で住宅の明け渡し請求ができることと定めています。が、具体的な基準の記載はありません。

法的措置はいつ

- ① 滞納額があまりにも多い金額だと思わないか。対応と原因は。
- ② 長期滞納者に住宅の明け渡し請求を行わないのはなぜか。
- ③ 法的措置の時期は、具体的にいつか。

町長

① ② 直接的な答えにならないが、条例や規則を整備しながら収納対策本部のあり方を検討し徴収を強化したいです。

③ 法的措置に向けて、令和元年度末頃に一定の方向を出したいです。



▲公営住宅（南開団地）

渡辺修勝議員

第2弾への課題は

町長 線引きをはっきりする

第1弾の結果は

- ① 地方創生事業第1弾の結果は。
- ② 第2弾に向かうために、第1弾の課題にはどう取り組むのか。

町長
① 第1弾は一定の効果があった。効果検証は評価委員会です。

② 効果0や裾野が広がっていない項目がある中で、第2弾を見据えながら

ら方向性を出していきたくないと考えています。

事業の線引きは

① 検証結果を踏まえて事業の継続が可能か不可能かの線引きはできているのか。

町長

① できないもの、駄目なもの、駄目という方向でいきます。

平成28年度 地方創生関連事業

事業	成果
ラーメン店とのコラボ	カップめんの商品開発
地元産品の海外展開	東南アジアへの販路拡大
漁業の販路拡大	イタリアンレストランへ販路拡大
地元産品の開発	平成30年まで29品を開発
地域資源の再確認	サフォークジンギスカンを開発
クラウドソーシングの活用	主婦等を対象、約500万円の収入
相乗りマッチング	平成30年度まで323名の利用
スキルのシェア	求職業者と連携、協力隊4名採用
電子図書館	登録者180人、延べ貸出数563冊
プログラミング教育	義務化に先駆けて実施

平成29年度 天塩國眠れる食資源活用プロジェクト

事業	成果
民間との新製品開発	コンペ開催、8点の商品を採用
専門家のアドバイス	肉まんを開発、約4,500個を販売
海外市場への輸出調査	商品PRや消費者動向を確認
加工施設の整備	平成30年完成、商品開発の推進

平成30年度 天塩國眠れる食資源活用プロジェクト

事業	成果
地域商社の設立	加工場を兼ねて1社が設立
高コンテンツ製品開発	イクラ醤油漬け等の商品化
海外輸出の調査	シンガポール、バイヤーと協議中
ISO等の取得	取得していない

山本春光 議員

産廃処理場の進捗は

町長 受入体系の見直しを検討



具体的な考えは

- ①平成29年度の所管事務調査後の受入状況や施設の変更協議等の進捗状況は。
- ②天塩町内だけでなく留萌管内などの受入をする考えはあるのか。

町長 ①平成26年12月開設で稼働から5年目になるが、維持管理にかかる経費が収入の充当では補えない状況が継続しており大きな課題となっています。

現状での収入増の要因は認められず、水質検査等の法令を遵守する経費がかかるため、維持管理委託業務経費の削減を行っています。今年度の開設期間は8月から10月までの3ヶ月で14日間としており、これ以上の節減は利用者への支障が懸念されます。今後は料金体系の見直しや開設日および開設期間について早急に対策を検討します。

②条例においては「町内で発生した産業廃棄物のみの受入」としておりますが、これを「町外で発生した産業廃棄物」も受け入れることで多少の収入増が期待できると考えています。



▲処分場の外観

受入単価の減額を

- ①建設当初から維持管理にかかる経費が収入の充当をまかなえないと言ったことから、計画の甘さがあったと言わざるを得ない。
- ②単価を安くしても受け入れる状況があれば埋めていく方向にしなければならぬのではないか。
- ③稼働から5年間で維持管理経費はいくらになつていくのか。

町長 ①利用が一定程度増えなかつたということ、私の町としての責任は十分痛感しております。

②留萌管内の業者から中間処理した安定5品目を2千円で受けてくれないかという話があつたと聞いています。担当課には近隣の中間処理ができて天塩へ受入してくれる業者や関

係者に照会するよう指示しています。これも1歩も進まなかつたら単価を減額する条例提案含めて協議したいと考えています。

住民課長

③5年間で9千万円近くの維持管理経費がかつています。

名称	天塩町安定型産業廃棄物最終処分場
所在地	天塩町字更岸 5014 番地の 4 外
供用開始	平成 26 年 12 月
開場期間	5月～10月の指定された日
受入廃棄物の種類	①がれき類 ②廃プラスチック類 ③金属くず ④ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ⑤ゴムくず
処理方法	埋立方式
中間処理	設備なし
料金	100 kg までごとに 1,500 円 (100 kg 未満の端数は切り上げ)

年度	開場期間(日)	受入数量(kg)	収入(円)	支出(円)	差引(円)
平成 25	0	0	0	7,654,910	▲ 7,654,910
26	30	552,180	8,283,000	71,144,387	▲ 62,861,387
27	73	182,635	1,930,500	5,856,984	▲ 3,926,484
28	50	38,715	643,500	5,586,183	▲ 4,942,683
29	26	39,545	615,000	4,113,562	▲ 3,498,562
30	4	9,585	150,300	2,388,284	▲ 2,237,984
合計	183	822,660	11,622,300	96,744,310	▲ 85,122,010

▲処分場の受入状況について

石山直継 議員

高齢者への対策は

町長 在宅介護の支援を行う



高齢者の割合は

- ① 町内の生活困窮者の人数は。
- ② 町内の70歳以上の人口と割合は。
- ③ 人口に占める高齢者の割合が増える中での懸案事項や既に実施している対策はあるか。
- ④ 町立病院の病床数に関する進展は。

- 町長
- ① 生活困窮者への支援は北海道が主体で動いているため人数は把握

～生活困窮者への自立支援～

経済的に困窮し、生活保護になるおそれのある人に対して、自立相談や就労準備等の支援事業が平成27年4月から始まりました。

していません。生活困窮者へのケアサポートについては北海道と連携をとりながら進めていきます。

② 町内の70歳以上の人口は795人で、割合は26.3%と4分の1を占めます。

③ 懸案事項は居宅介護支援についての医療やサービスの充実、関係機

関との連携や介護を行う人への支援があります。対策については家庭訪問や物忘れ相談、高齢者見守り事業などの在宅介護支援を行っています。

今後の対策は

① 産まれた人が一番多いと言われる団塊の世代が70歳以上になる今後3年で人数や割合はどうなるのか。

② 病床に関するハードルを越えて施設介護を必要とする要介護者やその家族の安心を確保する考えは。

③ 町の外れや1人、あるいは2人で生活している高齢者に冬期間だけでも町が用意した住宅に住んでもらうことはできないか。

④ 高齢者が自分たちでケアサポートなるものを組織し、元気な高齢者がいるような仕事のお手伝いをする組織が必要ではないか。

⑤ 車の免許証に関する高齢者対策に対する考えはあるか。

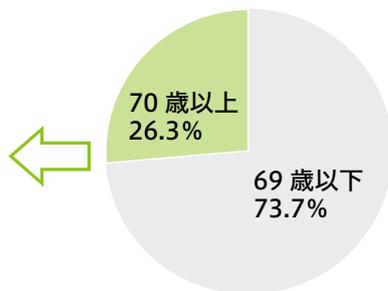
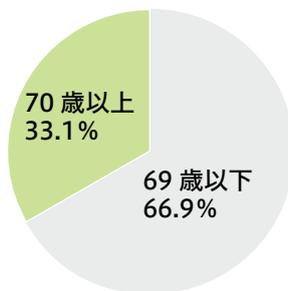
町長

② 施設型介護の今すぐの復活は経費やスタッフの配置、介護医療院として復活した例が数少なく、100床単位の大きな施設であるというハードルの高さがあるなかで議論しています。在宅型の施設に対する一定の支援や見守りといった制度についても、方策はないか検討しています。

③ 住宅の確保、本人の同意に十分配慮しながら、雄信内市街を含めた市街地に短期移住できないか議論を進めたいと考えています。

2019(令和元)年7月末現在

2025(令和7)年推計



2019(令和元)年7月末現在

2025(令和7)年推計		
	人口(人)	割合(%)
69歳以下	1,812	66.9
70歳以上	901	33.1

2019(令和元)年7月末現在		
	人口(人)	割合(%)
69歳以下	2,228	73.7
70歳以上	795	26.3

▲①各年代の人口と割合

④ 高齢者事業団があたると思いますが、事業が現状維持のままであるので、人材の有効活用の意味で、お年寄り自らが自らをサポートする仕組みを考える時期にあると考えます。

⑤ 免許証の返納にかかる足の確保は、お年寄りの命を守る、あるいは返納後の生活の利便を確保する意味で、町内及び近郊における総合交通

福祉課長

① 2025年の推計ですが、70歳以上の人口が901人、割合は人口の33.1%になります。

遠藤 功 議員

てしお再生の取組は

町長 2つの人口増加を目指す



天塩町の姿は

- ① 町民参加の仕組みと構築への取組状況は。
- ② 行政サービスの総合点検と見直しの進捗、その結果を住民にどのように公表するか。
- ③ 平成31年度事業の横断的検証をする必要があるのではないか。
- ④ 財政健全化への取組みは。
- ⑤ 天塩丸はどんな夢の「新天塩国」を目指すのか。中・長期的な視点での町の姿は。

町長 ① まちづくり懇談会について開催方法を見直し、新たな形で開催したいです。

② 課長会議において各課の事業課題を共有させ、横断的な協議を実施しました。今後更なる協議を重ね、課題の解決に向けて検討します。

③ 組織内での横断的な事業の見直し・改善を行ってから、新味の政策展開を実施できればと考えています。

④ 地方交付税の減による歳入減に合わせ、事業の見直し・改善を進める中で歳出削減を図りたいです。

⑤ 天塩丸が目指すのは「大正初期の賑わい」を目標とする新天地です。

中期的には観光客などの交流人口、地域外の人材などの関係人口の増加を目指します。長期的には2つの人口増加を原動力に、未来に新たな賑わいと繁栄を目指します。

条例の制定を

① 自治体の憲法ともいわれる自治基本条例の制定に最優先に取り組む考えはないか。住民主役のまちづくりのルールづくりの考え方についてどうか。

町長 ① 自治基本条例については承知しているが、行政、議会との相談や住民の声を聞いて条例のあり方について議論する必要があると考えます。

公営住宅保証人の見直しを

遠藤 功 議員

町長 実態等を踏まえて処理

保証人の確認は

① 入居決定者は保証人の連署する請書を提出することになっているが実効性は。

② 保証人の生存の実態等の点検は。

③ 特別な事情がある場合、保証人を必要としなが現状は。

④ 保証人のいない入居者の割合は。

⑤ 住宅管理条例は社会環境の変化に適合しているか。

今後異動届の閲覧や確認の通知をして点検等に努めます。

③④ 令和元年8月末日現在で保証人のいない割合は全体の15%、内訳は生活保護（町長が特別認められた場合）や保証人の死亡、入居者の相違があります。

⑤ 各種法律に基づき必要事項を定めています。が、それ以外については社会環境を勘案精査し利用者にとってよりよい条例になるよう検討します。

規定の改正を

① 北海道では身寄りのない単身高齢者が増えており保証人確保が困

難になり道営住宅に入居できなくなる懸念があることから、令和2年4月1日から入居する人について連帯保証人が必要としない条例改正をする。天塩町も改正してはどうか。

町長 ① 来年度以降に北海道の実態や各種法令を踏まえて適正に処理していきたいです。



▲公営住宅（左：緑陽団地 右：富士見団地）

国奥強議員

給食費の無償化を

町長 現段階では考えていない



保育への支援を

- ① 10月1日より3歳児から5歳児までの保育料が無償となり町も給食費を無償とする予定だが0歳児から2歳児は給食費を含めた保育料が発生することに対する町の支援策は。
- ② 小中学生の給食費の無償化への考えは。
- ③ 放課後児童保育の環境整備のためにも総合振興計画にある児童総合センターの整備をすべきではないか。

- ③ 総合振興計画における児童総合センターの位置づけは。
- ④ 子育て世代包括支援センターはどのような構築する考えか。

町長

① 保育料は国基準の半額で設定し第2子は半額、第3子以降は無料です。更なる支援は現在考えていません。

② 現段階では考えていません。

③ 現在建物の建設は検討されていません。来年度において子育て世代包括支援センターを設置する予定です。

支援しない理由は

- ① 乳幼児の子どもを持つ保護者に対する支援こそ、すべきでは。
- ② 義務教育で一番負担が大きいのが給食費であるが、無償化を考えていない理由は。

町長

① ② 無償化は基本的に国の施策であり町は残った部分について応援するスタンスです。今後は国や他自治体も議論が必要になります。

③ 計画にある機能をもつ総合的な施設を持つばいいと理解しています。福祉会館の改築を含め議論を進めたい。

④ 保健師や保育士を常設配置し、子育てのトータル支援体制を作るイメージで考えています。



▲放課後児童保育の会場

国奥強議員

資料の保存と管理は

町長 移動と電子化を検討

文書等の管理は

行政文書は本町の歴史を語る貴重な資料として後世に伝える必要があると考えますが、

- ① 行政文書等の保存の体制は。
- ② 保存した文書等は今後どのように活用するのか。
- ③ 適正管理を行うために専門職の雇用を進めるべきではないか。

町長 ① 行政文書等は処務規定により管理・保存・廃棄をしている。保存場所や保存方法等の課題があり、役場庁舎等の保管状況や電子化を勘案して検討したい。

町長

① 社会教育会館の中で耐火性、耐震性のある場所に移動する内部検討を進めています。教育委員会に移動した場合の移動方法や移動のための費用をどうするか、それを予算化できるように検討するよう指示しています。

施設の管理は

① 施設管理に相当な費用や人員が必要な場合は施設を撤去することも必要ではないか。



▲社会教育会館（左：源泉 右：男能富）

横山 敦議員

人財情報の共有を

町長 検討の時間がほしい



設置の考えは

町民が持っている地域に眠っているスキルや価値ある遊休資産・空き家・店舗情報を、町民のニーズにマッチングさせるために「人財バンク」を設け、地域内循環、町民総活躍のまちづくりに活かす考えは。

町長

近隣の求人情報をホームページ上で公開することや、業種ごとに求人企業数を公表し、ハロー



▲役場の窓口スペース

ワークの関連ページへつなげるなどの施策を考えています。

町民の皆様の細かいニーズに対応することは、町民に寄り添う役場づくりには欠かせないものです。より身近に感じてもらえるような「なんでも相談室」が設置できるよう、更なる検討を進めていきます。

地域情報の循環を

①例えば、除雪車が自宅前に寄せていく固い雪の除雪は町民の大きな困りごとのひとつですが、そこに有償ボランティアでできる町民がいればマッチングが成立する。企業や産業が必要とする人材だけではなく、町民ができること、町民がしてほしいことを町が公助として情報収集、公開し、結び付けるだけで、互助、共助のまちづくりにつながっていくと思うが、どのように考えるか。

②人口減と共に年々、空き家・空地も多くなってきた。情報も口伝えになり、不動産を活かしきれない状況です。空き家となり放置され、住民生活を脅かしている実態も見受けられる。転居などにより不要となった物件を売却や無償譲渡したい方、または

それを求めている方の情報を収集、公開することにより、遊休資産の活用や空き家対策、放置住宅対策につながる。また、店舗であれば、新規創業や事業承継、更には町外者の移住定住につながるものと考え。人と物の情報を地域内で循環させ、活性化につなげる仕組みづくりについての考えは。



▲除雪作業の様子

町長

①スキルを持った方と必要としている方のマッチングはなんらかの形で情報を収集、公開まではできると思いますが、その後、それを常設

的にどう行っていくか、人の配置について検討の時間をいただきたい。人材の登録やスキルがある方を紹介できるような仕組みはこの町だからこそ必要だと考えております。

②空き家・空き店舗の関係もまさにご指摘のとおりで、商業的な問題も含めて大きな問題となっております。公開できるものについて最低限の情報は持ちながら、提供できる情報として持っておくべきと考えっておりますので、人と物の情報を町として情報収集し、公開するサービスのあり方、それをどうつなげてくか引き続きの検討期間が欲しいと思います。

共助の仕組みを

財政上の観点から行政サービスにも限界

町長

人と人、物と物をつなげるような、そうした対策のあり方を、是非実現できるように頑張りたいと思います。

がきて、加えて今まで依頼できた仕事も、または買いた物ができたものも相次ぐ企業の廃業や商店の閉店により、できなくなり、町民の利便性が低下し、暮らしやすい都市部への流出が益々加速していくことが懸念される。これを補完するためには共助のまちづくりの仕組みが必須となる。今までの当たり前が当たり前でなくなってしまう現状に対し、今あるのではないかと。人と物と物をつなげる仕組みづくり、情報共有や公開、町民が期待するサービスを協議検討し、町民が長く住み続けられるまちづくりを願う。

7月30日
9月3日 **総務文教常任委員会**

遠別町・天塩町共同斎場の運営



8月5日
共用開始

㊦ 火葬炉を2基備え、1日最大3件の火葬受入が可能です。管理委託は6月1日から来年3月31日まで2町合わせて7百万円で契約しています。

㊧ 通年管理や斎場での繰上げ法要等、維持管理や利用のあり方について、今後どれだけ維持管理がかかるか、また通年管理の必要性について再度協議しながら、施設管理と運営をする必要がある。

ふるさと納税の寄付状況

㊦ 返礼品競争などの過熱により返礼品を「寄付額の3割以下の地場産品」と限定されました。このような経緯から本町については36品目の返礼品で対応していますが、寄付状況は昨年度と比較し大幅な減少状況にあります。

㊧ 大幅な寄付金の減少が見られるが、その対策が見えない。ラインナップの充実やカニの町内加工などの新たな取り組みが必要である。ふるさと納税は貴重な財源であるため引き続き納税に向けた努力が必要である。

社会教育施設の現状

㊦ 旧小中学校及び関連施設が社会教育施設として存在しています。どの施設も破損状況は著しく悪く、付属施設等は倒壊する恐れがあります。

㊧ 老朽化に伴う倒壊の危険性や放置されている現状、内部の歴史的資料の保管についての改善、施設の公売も視野に検討するよう求めた。

8月30日 **産業厚生常任委員会**

鏡沼海浜公園の整備計画



老朽化した
木道

㊦ 毎年1万人を超える利用があるが、地域条件からポテンシャルが高いとは言いがたいです。今後は機能維持を基本軸とした利便性の向上に努める方針です。

㊧ サービスセンターのあり方、老朽化した木道、利用頻度の低いトイレの撤去などを盛り込み鏡沼海浜公園全体の整備計画を樹立すべき。また体験型観光の導入や沼の水質改善を国に要望すべきとした。

道の駅てしおの今後の方向性



テスト販売
の様子

㊦ ギャラリースペースとして使用されていた空間で天塩町特産品のテスト販売が始まりました。今後は購買データの収集を行い、施設の将来的活用方法について提案を行う予定です。

㊧ 鮮魚を取り扱う道の駅は稀ということもありテスト販売は好評で、多くの利用者が見られる中、より使いやすく利用者拡大のため駐車場の再区画、隣接するスーパーハウスのあり方、道の駅から町中へ人を誘導させる取り組み、レストラン・物販の通年営業等の検討を提案した。

各研修会参加

○北海道

町村議会議員研修会

6月25日に札幌コンベンションセンターで開催された研修会で政治評論家の有馬晴海氏より「どうなる？今後の日本政治」と中央大学名誉教授の佐々木信夫氏より「地方はどう変わるか、自治体をどう変えるか」の講演を聞き研修しました。

◀道内各地より1800名が参加



○留萌管内

町村議会議員研修会

8月27日にてしお温

泉夕映コワーキングスペースで開催された研修会で農林水産省大臣官房政策課技術政策室室長の松本賢英氏より「スマート農業の今後の展望」についての講演後、質疑応答、意見交換を行いました。

◀管内から83名の参加



視察の受入

○宮城県大和町

社会文教常任委員会

7月3日に宮城県大和町より議員7名が所管事務調査のため本町を訪れ、横山副議長が同席しました。教育委員会、総務課より「小中学校プログラミング教育(Pepper)」について説明した後、質疑応答、意見交換を行いました。

◀副議長から歓迎の挨拶



表紙の写真



「町民ジョギング大会」 運動公園周辺特設コース

9月7日、気温26℃の秋晴れの中で教育委員会主催による町民ジョギング大会が開催され、小中学生や親子約200名が距離別に設定された4つのコースを駆け抜けました。

参加者は完走や目標タイムを目指して、親子ペアの部ではお父さんやお母さんと手をつないで、沿道の声援を受けながらゴールを目指し心地よい汗を流していました。

議会を 傍聴 しませんか？

次の定例会(本会議)は
12月12日(木)～13日(金)
の予定です。

一般質問は12日に行う予定です。

質問者・内容についてはホームページ
に掲載いたします。

編集 議会広報特別委員会

委員長	横山	敦
副委員長	後藤	忍
委員	山本	春光
委員	国奥	強